

プラごみゼロ チームおだわら

最勝寺 朋子



主な活動内容

- 河原や海辺でのごみ拾い
- プラスチックごみの状況調査
- 情報収集
- プラごみ削減への啓発

市民のみなさんにごみ拾い



ごみの状況を視察



目次

1. 酒匂川にごみの帯ができた！
(チーム発足のきっかけと背景)
2. プラごみゼロ チームおだわら発足
3. 活動紹介

1.チーム発足のきっかけ

(1) 2019.10.12 台風19号

令和元年東日本台風（令和元年台風第19号、アジア名：ハギビス/*Hagibis*）

2019年（令和元年）10月6日3時にマリアナ諸島の東海上で発生し、12日に日本に上陸した台風である。関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらした。

神奈川県箱根町では、降り始めからの降水量が1,000ミリを超え、10月12日の日降水量も全国歴代1位となる922.5ミリを観測した。阿武隈川や千曲川の堤防が決壊するなど、河川の氾濫、決壊が相次いだ。

死者・行方不明者が108人となり、21世紀の日本における台風被害で最悪の規模となった。

出典: Wikipedia



台風19号の被害



千曲川の氾濫 mainichi.jp



常磐自動車道 sankei.com



川崎市高津区 asahi.com



箱根登山鉄道
mainichi.jp



小田原市内

- ・ 狩川、山王川では溢水により蓮正寺、飯田岡などで床上・床下浸水が発生。
- ・ 10月12日に62施設の避難所が開設。過去最多の6744人が避難
- ・ 市内の負傷者は5人。

破損した小田原ちょうちん（小田原駅）
タウンニュース小田原・箱根・湯河原・真鶴版より

台風19号直後の
酒匂川の土手（蓮正寺付近）



台風19号直後の酒匂川



台風19号直後の酒匂川

狩川

酒匂川





← 1番上を歩く人からは草などで
ごみは見えづらい

ごみが帯状に堆積している

3段の土手

川

台風19号直後の酒匂川

報徳橋の下流（左岸）



台風19号直後の酒匂川

栢山付近



台風19号直後の酒匂川土手のごみの状況



8 km以上も
ごみの帯がつながっていた

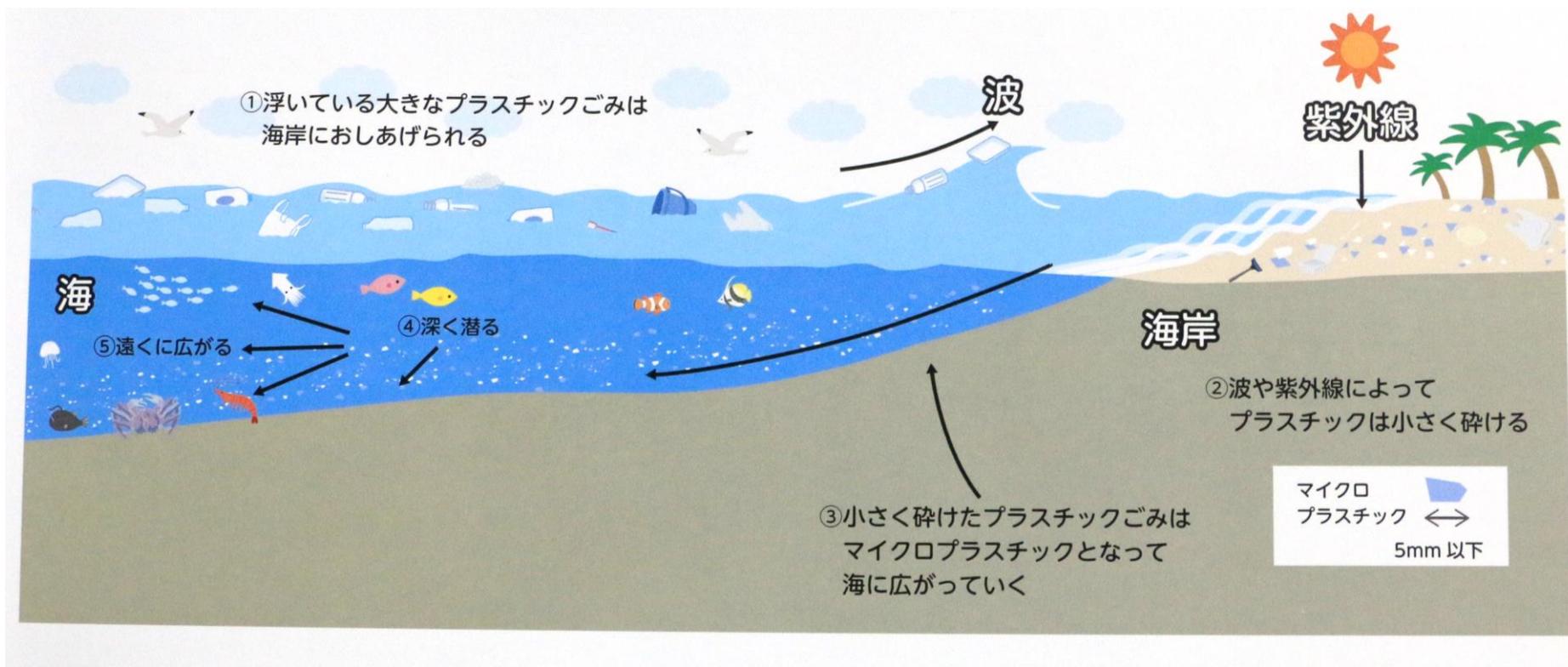
河川敷のスポーツ広場は台風で壊れてしまい立ち入り禁止に。
フェンスの棒にビニールごみがたくさん引っかかっています。

台風19号直後の酒匂川

右岸の河口

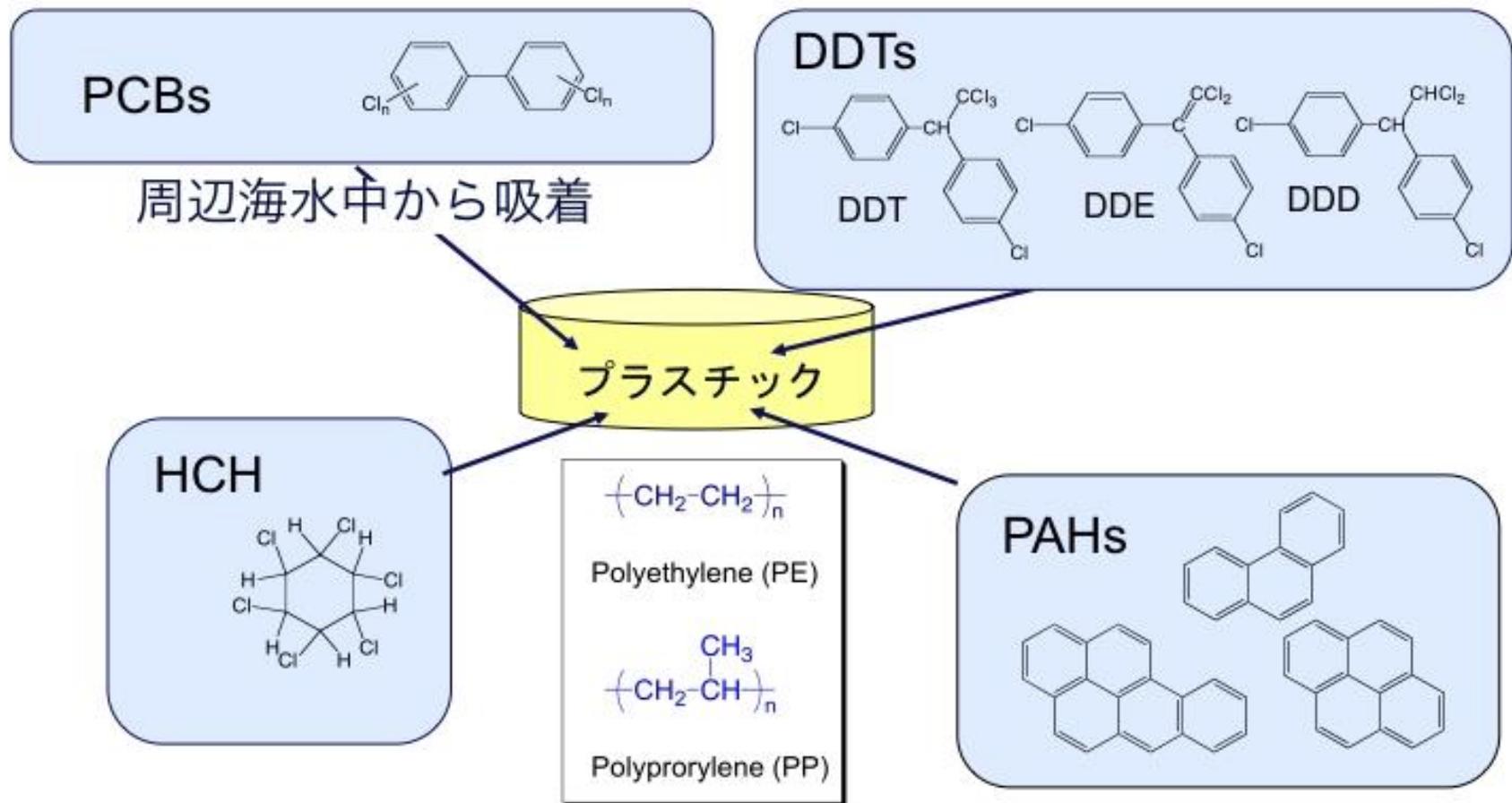


川から海へ流れたプラスチックごみは



『地球が危ない！プラスチックごみ』 ②日本にあふれるプラスチック（2019年 株式会社幸運社 協力：東京農工大学 教授 高田秀重／WWFジャパン／公益財団法人かながわ海岸美化財団）より

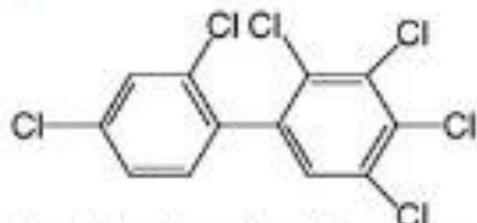
プラスチックに吸着する 残留性有機汚染物質 (POPs)



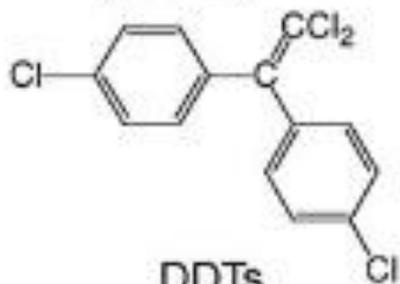
海洋漂流プラスチックから検出される有害化学物質

周りの海水中からの吸着

添加剤



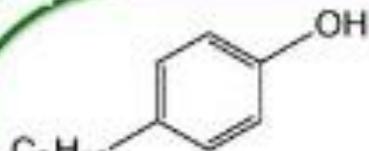
Polychlorinated biphenyl (PCBs)



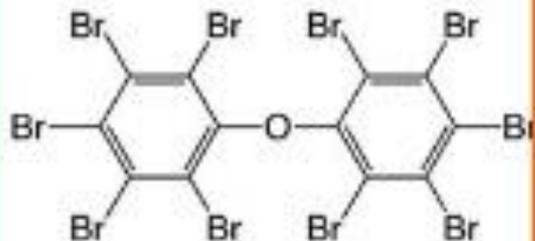
DDTs



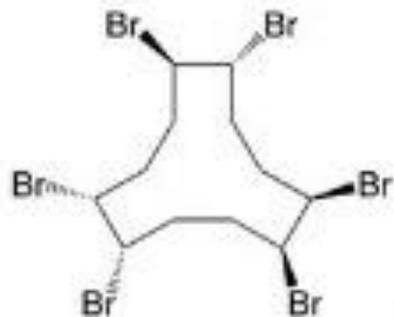
Polycyclic aromatic hydrocarbons (PAHs)



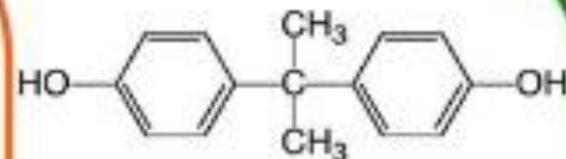
Nonylphenol



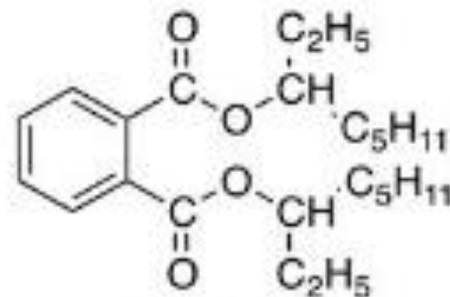
Polybrominated diphenyl ethers (PBDEs)



Hexabromocyclododecanes (HBCDs)

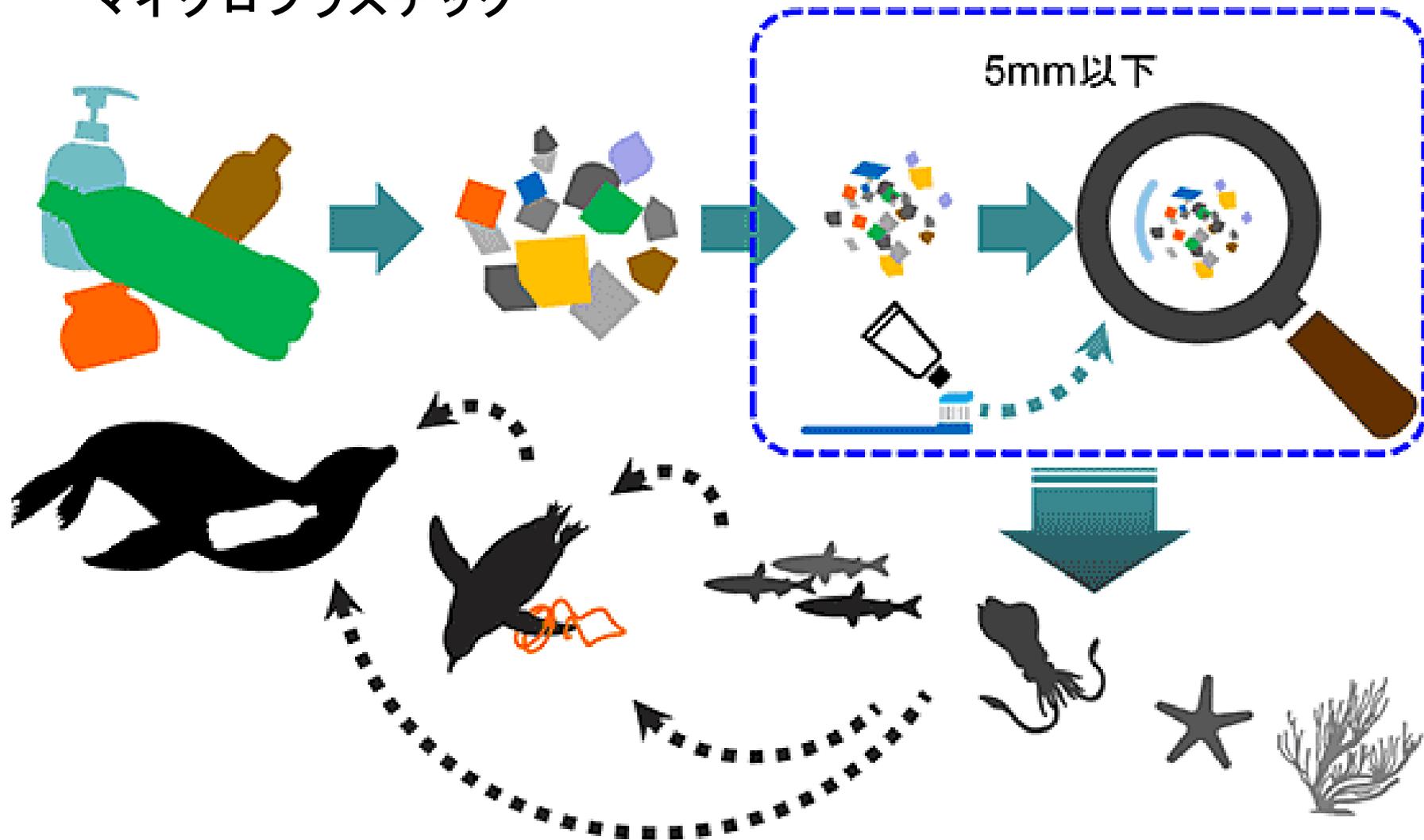


Bisphenol A



Phthalates (DEHP)

マイクロプラスチック



海洋プラスチックごみ問題の現状

(環境省HPより)

- ・ 毎年約800万トンのプラスチックごみが海洋に流出
- ・ 2050年には海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超えるという試算も

1. チーム発足のきっかけ

(2) おだわら市民学校

令和元年度専門課程「自然を守り育てる」



小田原の豊かな自然環境は、清浄な水や空気をつくって私たちの生存を支え、同時に多様な生態系を維持する基盤であるとともに、地域の経済を担う生産基盤でもあります。

この講座を通じ、さまざまな環境問題の解決に向けて身近なことから考え、行動を起こし、それを地域に伝え広めていくチカラを育みます。実習を中心とした学びにより、多くの実践団体と交流し意見交換することで、小田原の自然環境の状況や課題を知り、受講後の具体的な関わり方を見つけます。

2019.10.30

おだわら市民学校で呼びかけ



台風で酒匂川土手に溜まったプラスチック等のごみの除去について

最善寺祥子

2019年10月12日に台風19号が通過したあと、酒匂川の土手にペットボトルなどのゴミがあるのが目に入ったので自転車や徒歩で調べてみたところ、8km以上にわたって右岸と左岸にゴミが堆積していました。陸上のゴミが強風で飛ばされたり、雨水で流されたりして川へ運ばれ、川が増水していたため、土手の雑物に引っかかって残ったと考えられます。



酒匂川右岸 1番上の土手の側面 蓮正寺地近く

写真だとペットボトルが目立ちますが、この雑物の山の奥に発泡スチロール片が多く埋もれています

空いた時間を見つけて一人または母と二人で拾ってみているのですが、7割以上が発泡スチロール、2割はペットボトルで、そのほかにもスプレー缶やカセットボンベ、ボールなどがありました。

2時間くらい拾うと、10分しか拾えていないのに、45Lのゴミ袋4袋分になります。雑物の山に人工物のゴミが埋もれていて、振り返り作業が必要ですし、発泡スチロールが細かくなってしまっていて、取るのに時間がかかります。この計算だと、8kmの左岸と右岸のゴミは9600袋分あり、もし1人で拾えば6000時間かかりそうです（1日2時間ずつ毎日拾って3000日！）台風の後、4か所で私たちが以外にゴミを拾っている人たちを見かけましたが、10月26日時点で、2ページ目の地図の範囲にゴミがありました。

県や市にごみの除去をする予定はあるか聞いてみたのですが、今のところ実施されそうにもありません。また、小田原市環境ボランティア協会さんでは、明日10月27日に河口付近と梅のみを実施されていて、それ以外の場所は現段階で実施予定はないそうです。

去年8月にはクリーンさかわで一斉清掃が行われますが、ペットボトルや発泡スチロールは軽く、河原は風が比較的強いので、放置しているうちにゴミが積んでいってしまいますから、できる限り早く除去した方がよいと思います。今回の台風では多くのプラスチックゴミが海へ流れてしまったとは思いますが、運よく河原に引っかかったゴミだけでも、海へ流出するのを防げたらと考えています。

土手は、散歩やランニングなどを楽しむ多くの市民にとっても自然を感じられる大切な場所です。そういう意味でも、土手をきれいにしたいと思っています。

2019.11.09 酒匂川 蓮正寺付近（右岸）でのごみ拾い



3人で土手のプラごみを拾った後、意見交換

チーム結成のきっかけに。



一般市民へ参加呼びかけ



次の告知



取材を依頼 → 紙面とWEBに記事掲載
次のごみ拾いの告知も入れてくれた

facebook グループへ投稿
登録数**1.6万人**
当日来れなくても、
「シェア」で協力してく
れた人がたくさんいた

UMECO
ボランティア掲示板
ポスター



2019.12.14、15 酒匂川河口（右岸）でのごみ拾い



2日間で、
41人が集まってくれた

150袋分の
ペットボトルや
発泡スチロール片を
回収できた！



実施前



実施後



目次

1.酒匂川にごみの帯ができた！

2.プラごみゼロ チームおだわら発足

3.活動紹介

2.チームの発足

(1) チーム員募集と発足



2019.12.18

(仮称)

チーム最勝寺誕生

2019年12月18日

おだわら市民学校専門課程「自然を守り育てる」受講生の皆様

「(仮称) チーム最勝寺」発足のご紹介とチーム員募集のご案内

「自然を守り育てる」受講生 新井 浩一

台風19号の災害ゴミ、特にプラスチックゴミが瀬川川の土手に大量にあることから、最勝寺さんがおだわら市民学校「自然を守り育てる」の私たちに声を掛け、ゴミを拾う活動を行っています。プラスチックゴミはその周辺の景観を損なうだけでなく、川や海に入り、漁業に影響を与えます。そして、次第に小さくなってマイクロプラスチックとなり、生物にとって有害な汚染物質の「運び屋」として、魚や鳥、人を含めた生態系の汚染を拡大させることが懸念されています。

少人数でゴミを拾うという、とても小さな活動ですが、将来の小田原の海や川が豊かであり続けるために少しでも貢献できると想っています。来る2020年3月に私たちはおだわら市民学校を卒業しますが、この活動を継続していただけるようチームを結成しました。つきましては、活動に賛同しチームへ加入いただける方を下記のごとく募集いたしますので、ご検討の程よろしくお願ひ致します。

目的：小田原の海と川をプラスチックゴミから守る

チーム名：メンバーで案を出し合い決めます

現時点のメンバー：最勝寺朋子（リーダー）、新井浩一、伊東明彦、後藤千秋、田村タナシ

募集メンバー：

- ①おだわら市民学校「自然を守り育てる」2020年3月度卒業生で賛同いただける方
- ②2020年度以降のおだわら市民学校「自然を守り育てる」在校生・卒業生・・・別途募集予定

活動内容（案）：

- ①瀬川川など小田原の河川、海岸における台風19号およびこれからも予想される自然災害

- などによる災害ゴミや不法投棄・ゴミ捨てなどのプラスチックゴミ拾い（月1回程度）
- ②瀬川川など小田原の河川、海岸のプラスチックゴミの状況調査（年1~2回程度）
- ③海岸プラスチック問題などに関する勉強会への参加
- ④市環境課や関連団体との情報交換やディスカッション（年1~2回程度）
- ⑤2020年以降のおだわら市民学校「自然を守り育てる」におけるフィールドワーク立案と実施（年1回）

現在人数の少ないチームですが、例えば毎年2名加われば、2030年（おだわら市民学校がSDG5事業として継続されていると仮定）には20名以上のグループに、毎年5名加われば50名以上の団体になり次第に大きな力になることも考えられます。

メンバーは参加できる回に気軽に参加でき、無理なく継続できるようなチームに、そして、おだわら市民学校卒業生・在校生ならではのチームになるようチーム員で考えていきたいと思ひます。

なお、1月~3月の活動を以下のごとく計画しています。活動を見て、あるいは体験してからチーム加入をお考えいただくとも良いのではと思ひますので、時間のとれる方は参加いただけるかと嬉しいので、ぜひチーム加入をご検討下さいませようお願ひ致します。加入いただける方、質問のある方は、専門課程「自然を守り育てる」受講日（1/18、2/4、3/7）にメンバー（最勝寺、新井、伊東、後藤、田村のいずれか）にお声掛け下さい。

活動予定（案）

3月までは、おだわら市民学校の後に実施しようと考えています。

| 日時 | 場所 |
|----------------------------|-----------------|
| 1月18日（土） 14:00~16:00 | 瀬川川河口付近 |
| 一雨天の場合 1月19日（日） 8:30~10:30 | 詳細は別紙にてご連絡下さい |
| 2月4日（火） 14:00~16:00 | 小田原アリーナ近くの瀬川川土手 |
| 3月7日（土） 14:00~16:00 | 小田原アリーナ近くの瀬川川土手 |

以上

2. チームの発足

(2) チームメンバー、チーム名

ネーミング案

酒匂川からプラスチックの海を考える会

おだわらプラごみゼロプロジェクト

おだわらプラごみゼロの会

チームおだわらプラごみゼロ

プラごみゼロ チームおだわら

ゼロプラスチック小田原の川と海の会

チーム ゼロプラ(スチック)ゴミ Odawara

小田原の海をプラごみから守る会

海と川のプラごみを減らす会

2020.02.01決定

チームコンセプト

小田原の豊かな海や川を
プラスチックごみから守り、
次の世代につなぐ

この活動を通して

SDG s
「No.14 海の豊かさを守る」
に貢献する



SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)

2015年9月、ニューヨークの国連本部で「国連持続可能な開発サミット」が開催された際「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」＝SDGsが採択されました。2016年～2030年までの15年間で世界が達成すべきゴールを表したものです。

17の目標と169のターゲットターゲットで構成されています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」

海の豊かさを守ることが、持続可能な地球環境保護や地域経済に大きな影響をもたらしてくれる

○水産資源が危ない

海の資源を持続的に維持できないほどに、世界の魚の33%が穫られ過ぎています。

○プラスチックで溢れる海

海洋中のマイクロプラスチックによる人間を含めた生態系全体への悪影響が問題とされています。

○サンゴ礁絶滅の危機

1980年代頃より世界各地で水温上昇によるサンゴの「白化現象」が確認され始めました。二酸化炭素は地球温暖化だけでなく、「海の酸性化」を引き起こしてサンゴ礁の絶滅にも関わっていたのです。

<https://sdgs-support.or.jp/journal/sdgs/>



海洋ごみに関する国際的な動き （環境省HPより）

近年では、海洋プラスチックごみやマイクロプラスチックが生態系に与える影響等について国際的に関心が高まり、世界全体で取り組まなければならない地球規模の課題となっています。

2015年9月に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」では、「2025年までに、海洋堆積物や富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減すること」が持続可能な開発目標（SDGs）のターゲットの一つとして掲げられました。

神奈川県のプロゴミゼロ宣言 （神奈川県HPより）

プラスチックによる海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。2018年夏、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組みます。

かながわプロゴミ
ゼロ宣言



目次

1.酒匂川にごみの帯ができた！

2.プラごみゼロ チームおだわら発足

3.活動紹介

3. チームの活動

(1) ごみ拾い活動

| 実施日時 | 場所 | 参加者 | 備考 |
|---------------|--------------|------------------------------|-----------------------|
| 2020.01.19 AM | 酒匂川河口(右岸) | チーム5名、一般10名 | 50袋、不燃10袋 |
| 2020.02.02 PM | 酒匂川支流(河口) | チーム5名、一般1名 | 20袋、不燃5袋 |
| 2020.06.20 AM | 酒匂川河口、海岸(右岸) | チーム4名、一般41名 | 40袋、不燃15袋 |
| 2020.07.19 AM | 富士見大橋周辺 | 雨天中止 | |
| 2020.08.22 AM | 酒匂川河口、海岸(右岸) | チーム4名、一般39名 | 30袋、不燃15袋 |
| 2020.09.19 AM | 酒匂川河口、海岸(右岸) | チーム4名、一般17名 | 15袋、不燃15袋 |
| 2020.10.11 AM | 酒匂川河口、海岸(右岸) | 台風14号接近のため中止 | |
| 2020.11.14 PM | 酒匂川河口、海岸(右岸) | チーム4名、一般30名 | 14袋、不燃3袋 (考えるごみ拾い) |
| 2020.12.19 AM | 小田原大橋(右岸) | チーム4名、有志12名 コロナ拡大にてイベント延期 | 25袋、不燃7袋 |

その他 個人活動として 2020.03.15 富士道橋～富士見大橋など

2020.09.19 海岸（西湘バイパス下）





2020.06.20
酒匂川河口
(右岸)



3.チームの活動

(2) 調査活動

| 調査日 | 場所 |
|------------|--------------------------|
| 2021.01.16 | 報徳橋下流 |
| 2021.01.19 | 小田原大橋～酒匂橋(右岸) |
| 2021.01.26 | 山王川河口付近 |
| 2021.01.29 | 御幸の浜～酒匂川河口 |
| 2021.02.02 | 早川河口～御幸の浜 |
| 2021.02.03 | 酒匂川：富士道橋～富士見大橋～飯泉橋、狩川管理橋 |
| 2021.02.05 | 小田原大橋～河口(左岸) |
| 2021.02.12 | 森戸川河口付近 |
| 2021.02.17 | 小田原大橋～JR鉄橋(右岸) |
| 2021.02.20 | 小田原大橋～飯泉橋(両岸) |
| 2021.02.22 | 酒匂川河口(右岸)、親木橋付近 |

| 調査日 | 場所 |
|------------|-------------|
| 2020.03.19 | 御幸の浜～早川河口 |
| 2020.03.26 | 山王川河口～市立病院 |
| 2020.04.09 | 箱根板橋～塔ノ沢 |
| 2020.04.10 | 山王川河口～酒匂川河口 |
| 2020.04.12 | 富士見大橋～飯泉橋 |
| 2020.04.15 | 酒匂川河口～森戸川河口 |
| 2020.04.19 | 富士道橋～足柄紫水大橋 |

新型コロナウイルスの感染状況をみながら、メンバーが各地点を個人で調査し、写真と文章で状況を共有

* 2021.1.8緊急事態宣言発出により現在チーム活動を休止(1/16～の調査は個人活動)

2/12森戸川河口付近
テトラポット内(昨年4月調査と同じ2019台風19号のごみ)
および河口付近海岸の凹み箇所に大量のプラごみ(2020
台風14号のごみか?)
テトラポットを移動する場合、安全面要注意。



右岸

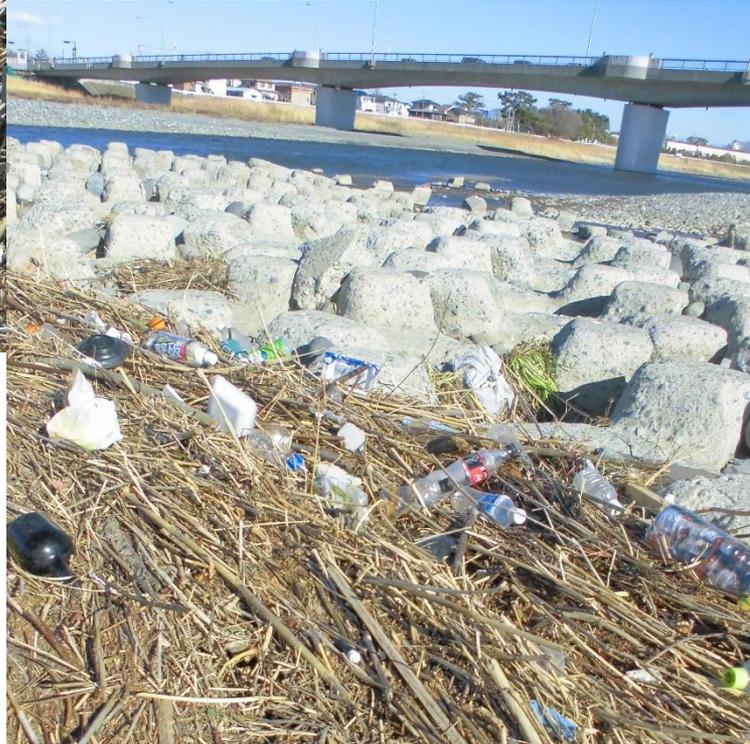


左岸



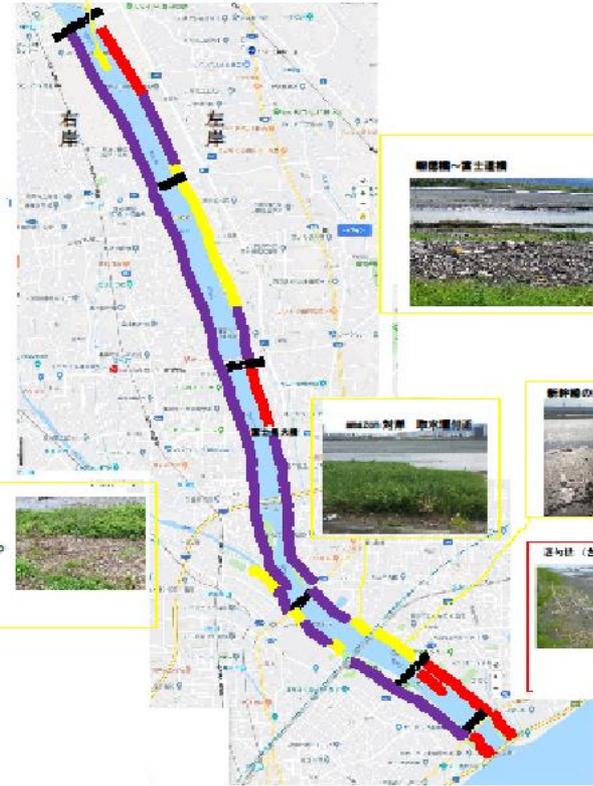
2/17、20小田原大橋—JR鉄橋(右岸)

12/19に拾った場所に多くの枯草とプラごみ、みが漂着。1/15の大雨？上流の川原の工事で溜まっていたゴミが流れが変わったことと合わせて流出したかも？



台風19号から半年経過後の状況

- 回収必要大
- 回収必要中
- 回収不要
- 未調査



富士見大橋の下流～小田原運路 立ち入り禁止



富士見大橋～藤原橋（右岸）狩川合流地点
プラゴミは少ないが狩川が欠けする藤原橋の少し上流の
狩川両岸側にプラゴミが100%の被害率となっている。



(3) 海へ流れるプラスチックごみを根本的に減らすには？

2020.9.13 NPO法人 [湘南クリーンエイドフォーラム](#) 主催

片瀬海岸「調べるビーチクリーン」

勉強のため参加

→ 「自分でもやってみよう！」



ごみ調査カード

■実施日: 2020年 9月 日 ■記入者:
 ■グループ名:

■分別方法

資源: ペットボトル
可燃: プラスチック、紙、布など
不燃: 金属、陶器、ガラスなど
粗大ごみ: 袋に入れずそのまま運搬!

| A. 飲食系の容器包 | | D. 食器類 | |
|---|----------|--------------------------------|----------|
| 個数 | 個数 | 個数 | 個数 |
| 1 ペットボトル | | 26 ストロー(マラ一食) | |
| 2 びん | | 27 フォーク・ナイフ・スプーン | |
| 3 缶 | | 28 紙コップ・皿類 | |
| 4 紙パック | | 29 プラコップ・皿類 | |
| 5 食品の発泡スチロール容器 | | 30 発泡スチロールコップ・皿類 | |
| 6 食品の硬いプラスチック容器 | | E. タバコ関係 | |
| 7 食品のポリ袋・シート | FE | 31 吸い殻・フィルター | 正正正正正正正正 |
| 8 ペットボトルのキャップ | | 32 パッケージ・包装 | FE |
| 9 ペットボトル以外のプラキャップ | | 33 使い捨てライター | |
| 10 金属キャップ | | F. 注射器 | |
| 11 シックスパックホルダー | | 34 注射器 | |
| B. 飲食以外の容器包 | | G. レジャー・スポー | |
| 12 プラスチック・ボトル | | 35 シート | |
| 13 スプレー缶・ボンベ | | 36 花火 | 正正正正 |
| 14 レジ袋 | | 37 風船 | |
| 15 ポリ袋 | | 38 ボール | |
| 16 紙の袋 | | 39 釣り糸 | |
| 17 プラキャップ | | 40 ルアー・仕掛け | |
| C. 生活用 | | H. 漁具 | |
| 18 衣服・軍手 | | 41 ウキ・フロート・ブイ | |
| 19 廃物類 | | 42 カキ養殖用パイプ | |
| 20 おもちゃ | | 43 カキ養殖用まめ管 | |
| 21 電池 | | I. その他 項目にないごみはここに明記 | |
| 22 ひも・ロープ | F | 44 | T |
| 23 荷造り用ストラップバンド | | J. 粗大ごみ (種類と数) ごみ袋に入らないものや重いもの | |
| 24 プラスチック・発泡梱包材 | | | |
| 25 その他の生活用品 | | | |
| K. 破片・かけら (元の形の2/3以下になったもの) <2.5 cm以上のごみ! | | 2.5 cmより小さなごみはカウントのみ | |
| 45 硬いプラスチック | FE | 47 発泡スチロール | FE |
| 46 ポリ袋・シート | FEFEFEFE | 48 ガラス・陶器・金属 | F |
| 合計約 | | 個 | |

2020.11.14 酒匂川河口（右岸）～海岸

オール・オーシャンラバーズ・ビーチクリーン2020参画企画として実施

“考えるごみ拾い”導入

【目的】

ごみ拾いによるごみの削減、実態改善だけではなく、気付く、知る、事実認識しごみ削減の予防効果含め一回のごみ拾いの期待効果を拡大する



“考えるごみ拾い”

① みんなで海岸のごみ拾い

② ごみを用途ごとに仕分け

- 生活用品
（梱包用の発泡スチロール、サンダル）
- レジャー用品（ボール、釣り糸、ルアー）
- 農業や漁業の道具

- 飲食系 使い捨て容器など
（ペットボトル、トレイ、割り箸、お菓子の袋、おにぎりの袋）
- 飲食以外の使い捨て容器（洗剤の容器、レジ袋）

③ 「なぜ捨てられたのか」「どうしたら減らせるのか」
考えて意見を出し合う



“考えるごみ拾い”

【内容】

○ごみ拾いの結果から

- ・原因分析: 漂着、ポイ捨て他・・・
- ・対策検討: どうしたら少なくなるか
- ・行動意識改善: 人、自分の行動や工夫の共有
- ・影響拡散: 近くの人にも教える促す

○世の中の実態や対策状況・事例、根本改善研究や動きを紹介し共有し考えることにより、意識行動改善や影響拡散を期待しごみ拾いの効果を増幅させる。



どんなごみが
多いでしょうか？
それは、なぜだと思
いますか？

チームメンバー募集中！

ご興味のある方は、ご連絡ください

topuragomi0@gmail.com

活動詳細 & ごみ拾いの告知など

<https://www.facebook.com/プラごみゼロチームおだわら>

紹介動画

小田原市 市民力 No149 (J:COMチャンネル小田原)

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/movie/civicpower/>

J:COMチャンネル小田原 「ジモト応援！つながるNews (2020.06.18)」

加入団体

おだわら環境志民ネットワーク会員

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/environ/environmental-network/>

